

北海道読書推進運動協議会

北読進協だより

第16号



市立富良野図書館「絵本の玉手箱」

こんにちは、新しい本 こどもの読書週間 ~ 道内の行事から
表彰・助成・奨励事業のご案内

今年の読書週間も、各地でさまざまな楽しいイベントが開催されました。このような各地の行事については、東京の社団法人読書推進運動協議会がとりまとめ、発表していますが、北海道地区については、当会事務局が集計作業を担当しております。現在集計作業中ですが、特に目を引いた活動例をいくつか紹介します。

おはなし会から

定番の事業であるおはなし会は、今年も数多くの市町村で開かれました。定例のおはなし会のスペシャル版も多かったようです。

本別町図書館では地元のボランティア・ぶっくるが、「小学生国語教科書朗読会」を開きました。音楽を挿入したり、教科書の挿絵を模したコスチュームで、工夫を凝らした内容に、参加者は皆、満足した表情でした。

他に音楽と組み合わせた例として、伊達市立図書館の「絵本の読み聞かせコンサート」がありました。室蘭在住のシンガーソングライター川畑浩一さんが自作の絵本『おなかのくるころりん』を読み聞かせ、そのテーマ曲をライブ演奏するというもの。子どもから大人まで、楽しい時間をすごしました。



本別町図書館「小学生国語教科書朗読会」

展示から

石井桃子さんの作品展示が複数ありました。代表作『ノンちゃん雲に乗る』や『クマのプーさん』を並べるだけではなく、新聞・雑誌の追悼記事をパネルで飾るなど、各地で工夫をこらした展示が展開されました。

秩父別町図書館では町内サークルぷちパンプキンの作品を展示する「ぷちパンプキンの布おもちゃ展」、森町図書館では町内のアマチュア写真家の寄贈による「森町のさくら写真展」など、住民の力による展示が増えてきているようです。

平取町立図書館
「しかけ絵本展」の『人体絵本』



滝川市立図書館「絵本でめぐる世界の国々!!」(展示)

一日司書から

一日司書は年々増えているようです。どのまちの一日司書さんも、輝く笑顔で、掲載写真を選ぶことができませんでした。

その他ダイジェスト

体験型のイベントが目につきました。



新得町図書館
「図書館クイズ」

苫前町公民館図書室
「しかけカードをつくろう
- 本を利用してやってみよう - 」



深川市立図書館
「としょかんこどもフェスティバル」

表彰・助成・奨励事業のご案内

子どもの読書活動優秀実践図書館・団体（者）文部科学大臣表彰

文部科学省では毎年4月に、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている図書館及び民間団体並びに個人に対し表彰を行っています。今年、北海道からは2図書館・2団体が選考されました。表彰式は、例年どおり4月23日の「子ども読書の日」に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。

新十津川町図書館

住民一人当たりの貸出冊数が大変多い図書館ですが、それを支えているのは、図書館職員と利用者が顔を向かい合わせる、基本に忠実なサービスです。

さらに、昨今の子ども読書活動の推進の機運に合わせ、家庭・地域・学校における読書活動の推進を図り、高い実績を上げています。

旭川市図書館

平成4年に策定された基本構想計画に基づき、子どもの読書活動に適した地域分館分室の整備を進め、現在は5館10分室による大規模な図書館サービス網を構築し、きめ細やかなサービスを行っています。さらに「子どもの読書活動推進計画」を策定し、家庭と地域に加え、学校図書室に対する働きかけにも取り組むなど、計画性と実行力において子どもの読書活動の推進に大きく寄与しています。

えにわゆりかご会

恵庭市は、ブックスタート事業を全国に先駆けて実施しました。えにわゆりかご会は、ブックスタート事業を行政とともにサポートする市民組織として平成13年に発足。

他の市町村の視察や自主的な研修会から「ゆりかご会グッズ」の販売まで、市の施策の受け皿だけではない主体的な運営により、対等な立場で共に課題に取り組む姿勢は、全国からも注目を浴びています。

読み聞かせの会「びっくり箱」(新冠町)

子どもたちに絵本の楽しさとより多くの絵本にふれてもらうことを目的に、町内各所において読み聞かせを行っています。また、手作り大型絵本の製作や、お母さんのための絵本講座の開催協力など広範囲な活動を行い、他の町村に招かれて講演を行うなど、子どもの読書活動の推進に大きく寄与しています。

野間読書推進賞

毎年、読書週間に贈呈式が行われる野間読書推進賞は、地域・職場その他において読書の普及に多年尽力し、読書推進運動に貢献された団体又は個人を顕彰するものです。

(社)読書推進運動協議会ホームページ <http://www.dokusyo.or.jp/index.htm>

(財)伊藤忠記念財団子ども文庫助成事業

日本の子ども読書活動を支えてきた「文庫活動」に対する助成で、「子ども文庫助成」と「病院施設子ども読書支援」の2種類があります。どちらも対象はボランティアの方々になります。

(財)伊藤忠記念財団ホームページ <http://www.itc-zaidan.or.jp/>

子どもゆめ基金

国と民間が協力して子どもの体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金です。民間団体が実施する特色ある新たな取組や、体験活動の裾野を広げるような活動を中心に、助成を行っています。道内でも毎年、多くの団体が助成を受けています。

20年度の募集は終了しました。21年度の募集は20年9月からはじまります。

子どもゆめ基金 <http://yumekikin.niye.go.jp/index.html>

次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン (北海道子どもの読書活動推進計画)

北海道教育委員会が平成15年度に策定した「北海道子どもの読書活動推進計画」が19年度で終了することから、20年度から概ね5年間を計画期間とする「次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン」が策定されました。このことにより、市町村でも各地域の実情に即した計画を策定し、各地から子ども読書の推進が実行されることが期待されます。

北海道子ども読書活動推進ホームページ

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/move/dokusyo/dokusyoindex>



北読進協だより 第16号

発行年月日 平成20年6月17日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館業務部市町村支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063 (業務部直通)

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、（社）読書推進運動協議会発足の翌年、昭和35年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。